

給付

2022年12月

日本学生支援機構「給付奨学金継続願」および「適格認定」について

給付奨学生は、毎年1回、次年度も継続して給付奨学金を希望することについて、願い出る必要があります。これを「給付奨学金継続願」の提出(入力)手続きといいます。提出(入力)が確認できない場合は、**2023年4月から給付奨学金の振込みが止まります。**

学校は、給付奨学生の学修状況等から、引き続き給付奨学生としての適格性を有しているか否か等の判定結果を機構に報告します。機構は、学校からの報告に基づき、学業成績等に応じて給付奨学金の継続等にかかる必要な措置をとります。この認定を「**適格認定(学業)**」といいます。適格認定(学業)の結果によっては、給付奨学金の支給が廃止(打ち切り)となります。状況によっては、受給済みの給付奨学金について返還が必要となることがあります。

「給付奨学金継続願」提出(入力)および「適格認定」の流れ

12月	スカラネット・パーソナルで「給付額通知」の内容を確認 (奨学生)
12月～1月	「給付奨学金継続願」入力準備用紙の作成 (奨学生)
12月～1月	スカラネット・パーソナルより「給付奨学金継続願」を提出(入力) (奨学生) 提出(入力)期間：2022年12月20日(火)～2023年1月15日(日) ※土日祝日も提出(入力)できます。ただし、年末年始のため、 2022年12月29日(木)から2023年1月3日(火) までは利用できません。
2月～3月	適格認定の実施 (大学・機構) 【注意】適格認定(学業)の基準については、採用時に配付している「2022年度給付奨学生のしおり」30～31ページを参照してください。また、採用時(推薦時)の適格認定(学業)で『警告』に該当し採用された者が初回の適格認定(学業)の判定結果で『警告』となった場合、廃止の基準にある連続して『警告』に該当するため『廃止』となります。 【参考】〔標準修得単位数〕※卒業に必要な単位数は学科・入学年度ごとに異なります。 ・卒業に必要な単位数が124単位の場合(累積) 1回生：31単位 2回生：62単位 3回生：93単位 ・卒業に必要な単位数が128単位の場合(累積) 1回生：32単位 2回生：64単位 3回生：96単位
3月	処置の決定 (機構)
4月	奨学金の交付 (『継続』『警告』の処置を受けた方のみ) (機構 ⇒ 奨学生) 交付日：2023年4月下旬(正式な日程は日本学生支援機構が発表次第、お伝えします) ※『廃止』の処置を受けた方は振り込まれません。

5月

「処置通知」の交付（『警告』『廃止』の処置を受けた方のみ）〈大学⇒奨学生〉

※『廃止』の処置を受けた方で、返還が必要な場合は、給付奨学金の返還に必要な書類等は、日本学生支援機構から直接学生宛に送付されます。

「給付奨学金継続願」の入力方法・補足事項

※「給付奨学金継続願」入力準備用紙に回答の下書きをしてください！

「給付奨学金継続願」入力中、一つの画面で 30 分以上経過した場合はタイムアウトとなり、最初から入力しなくてはなりません。誤入力防止や円滑な入力のために、入力前に「給付奨学金継続願」入力準備用紙を記入し、手元に用意してから入力を開始してください。

1 スカラネット・パーソナルにアクセス アクセス方法は以下の2つ

- (1)日本学生支援機構のホームページ(<http://www.jasso.go.jp>)の画面下にあるバナーからアクセス
- (2)スカラネット・パーソナル用ホームページアドレス(<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/>)にアクセス

〈日本学生支援機構ホームページ画面〉



2 スカラネット・パーソナルにログイン

- ①「ログイン・新規登録」ボタンを押す
- ⇒ ②「ユーザーID」「パスワード」を入力し「ログイン」ボタンを押す
- ⇒ ③「奨学生番号」を入力し「次へ」ボタンを押す

スカラネット・パーソナルへようこそ
(スカラネットPS)

スカラネット・パーソナルを活用すると

- 転居・改姓・勤務先変更等の届出ができます。
- 線上返還の申込ができます。
- 在学猶予願・在学猶予期間短縮願の提出ができます。
- 各種証明書の発行依頼ができます。
- あなたの奨学金情報の閲覧・確認ができます。
- 奨学金減額返還願・奨学金返還期限猶予願の作成・印刷ができます。
- 体験デモサイトについて
- [スカラPSに関するご質問](#)



ログイン・新規登録は、下の「ログイン・新規登録」ボタンを押してください。
(ユーザーID・パスワードを忘れた方も下の「ログイン・新規登録」ボタンを押してください。)

①

ログイン・新規登録

スカラネットPSの登録手順・利用条件の詳細は、下の「登録手順・利用条件」ボタンを押してください。

登録手順・利用条件

スカラネットPSの利用規約は、下の「利用規約」ボタンを押してください。

利用規約

平成31年4月より新たに追加された機能

- 最低返還月額申請(所得連動返還方式選択者)ができます。

- 現在、奨学金を貸与・給付・返還中の方はいつでもスカラネット・パーソナルに登録できます。

利用規約の同意画面が正しく表示されない場合には、ブラウザの更新ボタンを押して最新の画面を表示するか、またはインターネット一時ファイルの削除を実行してください。[\(インターネット一時ファイルの削除手順についてはコチラ\)](#)。



②

ユーザーIDとパスワードの登録をしている方

ユーザーID : 半角英数

パスワード :

ログイン

まだユーザーIDとパスワードの登録をしていない方

初めてスカラネットPSに登録する方は、「新規登録」ボタンを押してください。

新規登録

ユーザーIDまたはパスワードを忘れた方は、下の「ユーザーID・パスワードを忘れた場合」ボタンを押してください。

ユーザーID・パスワードを忘れた場合

未登録の場合は、「**新規登録**」ボタンを押し、登録してください。

ユーザーID・パスワードを忘れた場合は、「**ユーザーID・パスワードを忘れた場合**」ボタンを押し、再登録を行ってください。

登録には、**奨学生番号**および**奨学金振込口座**に指定している**口座情報(口座番号、支店番号等)**が必要です。

③

奨学生番号確認

奨学生番号の確認

日本学生支援機構、あるいは日本学生支援会の奨学生番号を入力してください。
奨学生番号が複数ある場合は、()内から一つの奨学生番号を入力してください。

入力した奨学生番号が誤っている場合は、スカラネット・パーソナルにログインすることはできません。

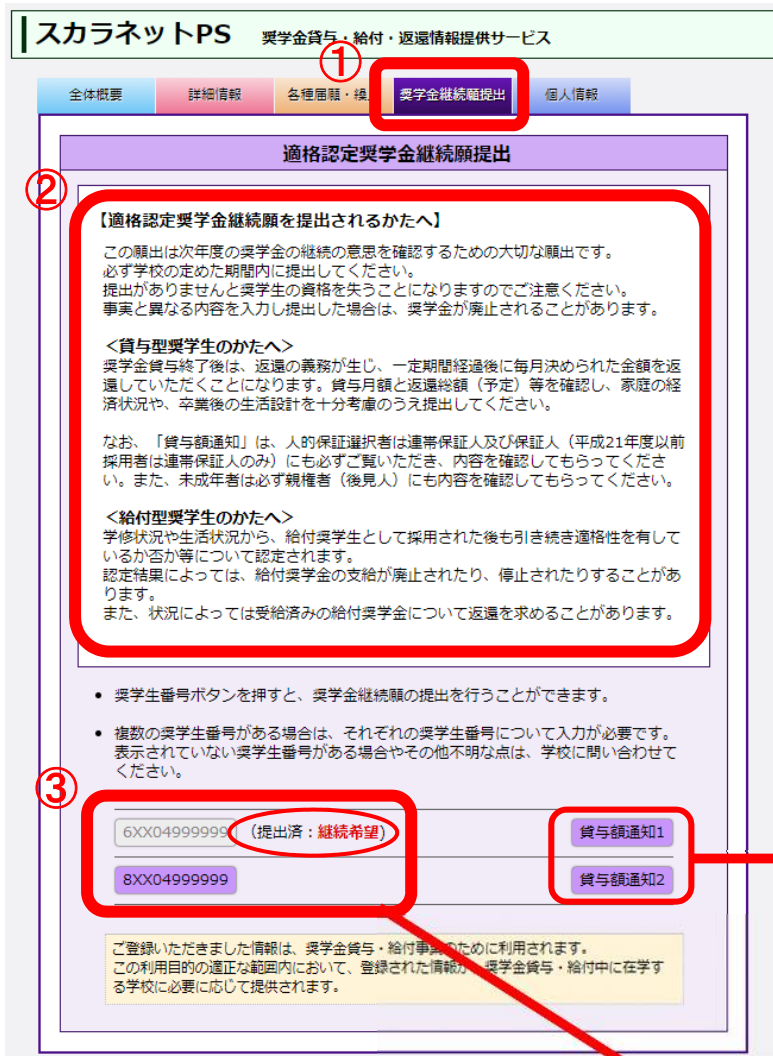
奨学生番号 半角文字

戻る

次へ

3 奨学金継続願入力画面へアクセス

- ①「奨学金継続願提出」タブを押す
- ⇒ ②【適格認定奨学金継続願を提出されるかたへ】の内容を必ず確認する
- ⇒ ③「奨学生番号」を押す



貸与奨学生は「貸与額通知」の内容が、
給付奨学生は「給付額通知」の内容が
表示され、印刷することができます。

奨学金継続願の提出が必要な奨学生番号
が表示されます。
複数の奨学生番号を持っている場合は、そ
れぞれの奨学生番号で提出が必要です。
入力が完了すると、奨学生番号が非活性状
態になり、(提出済)と表示されます。

4 入力画面 1 / 5 「A - 給付奨学金継続願について」・「B - 誓約欄」

誓約

入力上の注意：数字及び英字は半角、カタカナは全角で入力してください。

A - 給付奨学金継続願について

「給付奨学金継続願」は、次年度の給付奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。
この願出の記入内容と、平素の学業成績等を総合的に審査し、学校が給付奨学金継続の可否等を判断します。
願出を提出しても必ず継続して給付されるとは限りません。

この願出の記入内容と、平素の学業成績等を総合的に審査し、学校が給付奨学金継続の可否等を判断します。願出を提出しても必ず継続して給付されるとは限りません。

5 入力画面 1 / 5 「B - 誓約欄」

①「誓約日」、②「氏名」、③「生年月日」を入力し、「次へ」ボタンを押す

B - 誓約欄

日本学生支援機構理事長殿

給付奨学金継続願の提出にあたっては、正しく記入することを誓約します。

① 誓約日 半角数字
西暦(4桁) 年 月 日

② 氏名(全角カナ) (15文字以内)
姓 名 (15文字以内)
(カナの文字数が制限を越える場合は、それぞれ指定された範囲内で記入してください。)

③ 生年月日(西暦) 半角数字
西暦(4桁) 年 月 日生

誓約日付は和暦で入力当日を入力してください。
数字は半角、カナは全角で入力してください。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

次へ

6 入力画面 2 / 5 「C - あなたの個人情報」

あなたの個人情報

C - あなたの個人情報

- あなたのお名前は 機構 太郎 ですね。
- あなたの学校は 学生支援大学 ですね。
- あなたの奨学生番号は 5xx04000001 ですね。

(注1) 内容が違う場合は右上の「x」ボタンを押してこの画面を閉じ、学校に確認してください。

給付明細

現在の給付月額(注2)	66,700円
給付予定期間	20XX年4月 ~ 20XX年3月

(注2) 給付月額は給付額通知作成時点の金額です。

氏名・学校名・奨学生番号・給付明細が表示されますので、内容を確認してください。

7 入力画面 2 / 5 「D - 奨学金振込みの継続の確認」

D - 奨学金振込みの継続の確認

あなたは継続願を提出して引き続き4月からの給付奨学金の振込みを希望しますか。

給付奨学金の継続を希望します

給付奨学金の継続を希望しません
奨学金の継続を希望しない方は、「希望しません」を選択して送信することにより在学
学校長を経て停止(本人都合)の「異動届」を提出したものとみなし、4月以降の給付
奨学金の支給を停止します。

選択

継続

辞退

○給付奨学金の継続を希望します

2023年4月以降も給付奨学金の
支給を希望する場合に選択してく
ださい。

○給付奨学金の継続を希望しません

2023年3月分までの振込みで給付
奨学金は「辞退」となります。4月以
降の奨学金は振り込まれません。

内容を確認し、下の「次へ」ボタンを押してください。次の画面に進みます。

次へ

8 入力画面 3 / 5 「E - 給付奨学金の返還」

給付奨学金の返還

E - 給付奨学金の返還

学業成績が著しく不振、停学等の学校処分等により交付が打ち切られた場合には、交付済みの奨学
金の一部または全部について返還していただくことがあります。
交付済みの給付奨学金について返還が必要になった場合には、返還すべき金額や返還方法を改めて
お知らせします。

交付済みの給付奨学金について返還が必要になる場合があることを承知している

交付済みの給付奨学金について返還が必要になる場合があることを承知していない

選択

○こちらにチェックをいれてください

○交付済の給付奨学金について返還が必要
になる場合があることを承知していない
を選択すると、奨学生としてふさわしくないと判断され、次の画面に進めません。

9 入力画面 3 / 5 「F - 廃止や停止の処置」

F - 廃止や停止の処置

以下に該当するような場合は、給付奨学金の交付について「廃止」(または「停止」)の処置がと
られます。

<処置の対象となる例>

- 学業不振により修業年限で卒業できないことが確定した場合
- 学修意欲が低いと判断された場合
- 連続して「警告」に該当した場合
- 退学、除籍、停学、その他の学校処分を受けた場合
- 偽りその他不正の手段により支援措置を受けた場合

廃止や停止の処置について理解している

廃止や停止の処置について理解していない

選択

○こちらにチェックをいれてください

○廃止や停止の処置について理解していない
を選択すると、奨学生としてふさわしくないと判断され、次の画面に進めません。

内容を確認し、下の「次へ」ボタンを押してください。次の画面に進みます。

次へ

10 入力画面 4 / 5 ~ 5 / 5 「G - 学生生活の状況」・「H - 学修の状況」・「I - アンケート」

※記述欄は全角で、指定された文字数以内で入力してください。

※入力中、一つの画面で 30分以上経過した場合はタイムアウトとなり、最初から入力しなくてはなりません。

※必ず入力準備用紙に回答の下書きをしてから入力してください。

11 確認画面

印刷

あなたの奨学生番号は**5XX04000001**です。 20XX年1月10日

給付奨学金継続願情報一覧

あなたの入力した内容は以下の通りです。

- 記入内容に相違がない場合は下の「送信」ボタンを押してください。「送信」ボタンを押した後で受付番号を確認してください。
- 記入内容を訂正する場合には記入内容を訂正するボタンを押してください。

B-誓約欄	
あなたが入力した氏名(カナ)	キコウタロウ
あなたの生年月日	20XX年4月3日

I-アンケート

I-アンケートを訂正する

以上の内容に相違がなければ、下の「送信」ボタンを押してください。

送信

すべての設問に入力漏れや誤りがないか、確認してください。

入力済の内容を訂正する場合には、それぞれの「～を訂正する」ボタンを押し、各画面に戻り訂正してください。

確認・訂正終了後、「送信」ボタンを押してください。「送信」ボタンを押した後は、内容を訂正することができません。

12 受付番号

印刷

給付奨学金継続願提出完了

奨学金継続願を提出しました。
あなたの受付番号は **10999001-04-000777** です。

受付番号は問合せの際に必要となります。
メモを取って大切に保管してください。

終了します

「受付番号」は、奨学金継続願を提出したことを証明する大切な番号です。必ず印刷のうえ、入力準備用紙にメモして、「終了します」ボタンを押してください。

「給付奨学金継続願」提出完了

【スカラネット・パーソナルによる「給付奨学金継続願」提出(入力)期間】

2022年12月20日(火)～2023年1月15日(日)

※土日祝日も提出(入力)できます。ただし、年末年始のため、2022年12月29日(木)から2023年1月3日(火)までは利用できません。